

中川区将来ビジョン



つながりづくり



まちづくり

令和2年度～令和5年度

 中川区役所

中川区民の皆さまへ

日頃から中川区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

中川区ではこのたび、令和2年度から令和5年度までのまちづくりの指針となる「中川区将来ビジョン」を策定いたしました。

策定にあたりまして、皆さまには区民会議や区民アンケートなどの機会を通じて貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

このビジョンでは「安心・安全きれいなまち」「みんなにやさしいまち」「魅力あふれるまち」の三つを中川区がめざすまちの姿として決めました。これらを実現するためには、区役所と区民の皆さまとの協働や、地域の交流、連携を欠かすことができません。このため、「つながりづくり♡まちづくり」をまちづくりの合言葉として定め、この合言葉のもと、区役所職員一丸となって、さまざまな取り組みを進めてまいります。区民の皆さまには、引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



令和2年5月 中川区長 増田 達雄

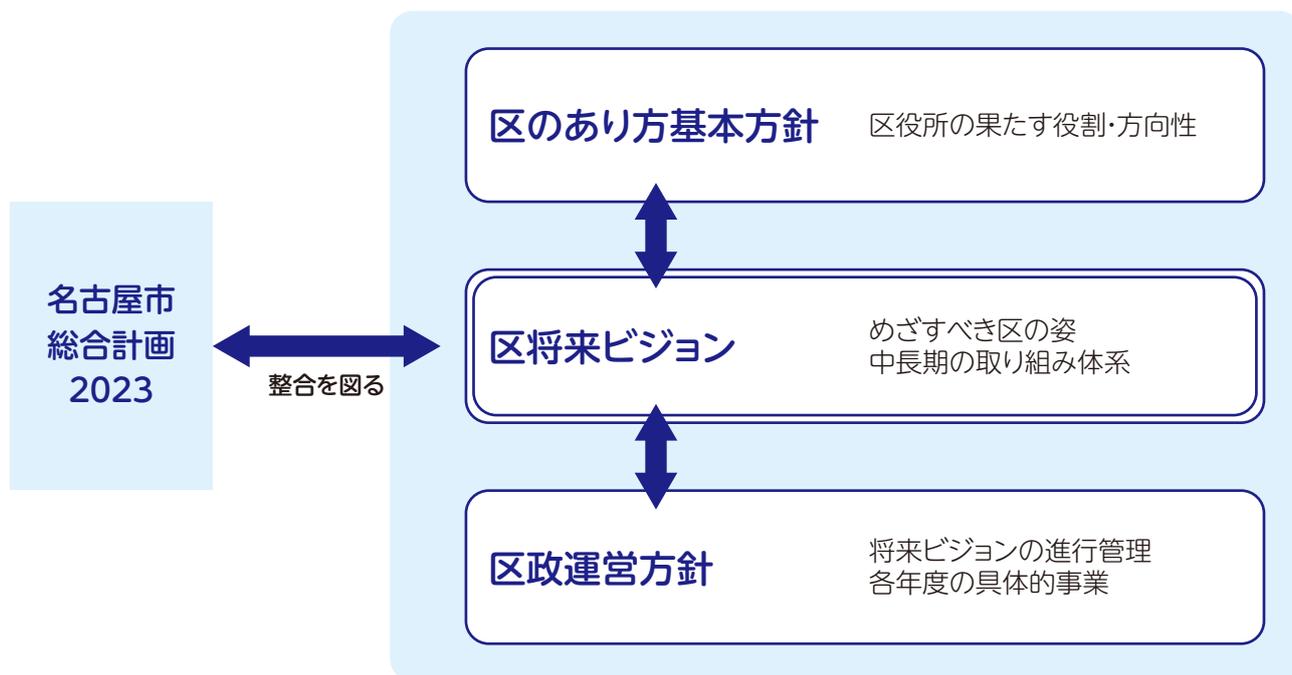
目次

第1章	はじめに	1
1	区将来ビジョンとは	
2	区将来ビジョンの計画期間	
3	区将来ビジョンの策定まで	
第2章	中川区ってこんなまち	2
第3章	中川区の現状と課題	3
第4章	中川区の将来像	6
1	めざすまちの姿	
2	まちづくりの合言葉	
3	めざすまちに向けた取り組み	
第5章	めざすまちの姿の実現に向けて	13
1	つながりづくり♡まちづくり ~まちづくりの合言葉~	
2	将来ビジョンの進行管理	
3	住民に身近な総合行政機関	
参 考	中川区に関する各種資料等	14

1 区将来ビジョンとは

区将来ビジョンとは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したものです。「区のあり方基本方針」(平成29年3月策定)に基づき各区が策定するものであり、「名古屋市総合計画2023」(令和元年9月策定)の個別計画として位置づけられます。

区将来ビジョンの進行管理及び年度ごとの具体的な取り組みは毎年度策定する区政運営方針に掲載します。



2 区将来ビジョンの計画期間

令和2年度から令和5年度までの4年間
(名古屋市総合計画2023と終了時期をあわせます。)

3 区将来ビジョンの策定まで

中川区では区将来ビジョンの策定にあたって、平成29年度から区民会議や区民会議意見収集の場「なかが話」及び区民アンケートにより意見収集を行い、区民の皆さまのご意見を反映して、平成30年度には『中川区の将来像(めざすまちの姿)』(イメージ、6ページ参照)を作成しました。

令和元年度には「中川区将来ビジョン(案)」を作成し、区民の皆さまから意見収集を行い、令和2年5月「中川区将来ビジョン」を策定いたしました。

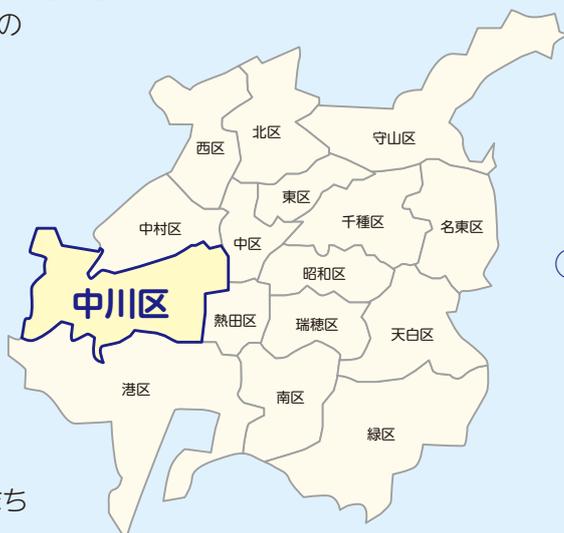


区の概況

沿革 昭和12年(1937年)中川区創設
昭和30年(1955年)海部郡富田町を編入
人口 220,782人(令和元年10月1日現在)
面積 32.02km²(令和元年10月1日現在)

○区のシンボルマーク

「中川」の文字に、川が多いという
区の特徴をイメージしたもの



○区のキャッチコピー

川と歴史を人がつなぐまち

○区の木 クロマツ

昭和62年5月制定



○区の花 ハボタン

昭和62年5月制定



○区をイメージする漢字「青」

平成30年度中川区区民まつり「中川区をイメージする漢字
決定選挙」で選ばれた。

多くの川、あおなみ線、青信号(安心・安全のまちに向かって
進む)、青菜(ミツバ等)から区をイメージしたもの



○区のマスコットキャラクター

ナッピー

みんなとふれあうことが大好きな
不思議な川の生き物



ハボン

体は小さいけれど、花をきれいに
咲かせることが大好きな
ハボタンの妖精



区民の皆さまからいただいたご意見を踏まえ、中川区の現状と課題をまとめると、以下のとおりとなります。



中川区の生活環境

現 状

- ◇区内を7つの川が流れる
- ◇土地(海拔)が低い
 - ・台風や大雨により浸水被害が危惧される
 - ・大地震が発生した場合、津波や液状化の可能性が高い
- ◇災害時に活用できる防災協力農地の登録が少ない
- ◇主要罪種*の認知件数が16区中3番目に多い(令和元年)
*強盗、恐喝、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、部品ねらい、車上ねらい、ひったくり、自動販売機ねらい、侵入盗
- ◇交通事故が16区中2番目に多い(令和元年)
- ◇ポイ捨てゴミが目立つ
- ◇犬猫に関する苦情や相談が16区中1番多い(平成30年度)
- ◇町内会・自治会の加入率が減少している
 - ・単身者世帯の増加
 - ・外国人居住者の増加

課 題

- ◇いざという時に備えた災害対策の推進
 - ・「自助」「共助」の推進
- ◇防災協力農地制度の理解推進
- ◇防犯対策の推進
 - ・区民の防犯意識の向上
 - ・防犯カメラ等を活用し、犯罪抑止力向上
- ◇交通安全対策の推進
 - ・区民の交通安全意識の向上
- ◇快適に暮らせる環境づくり
 - ・町を美しくする運動の推進
 - ・犬猫の飼主などのマナー向上
- ◇町内会・自治会への加入促進
 - ・町内会・自治会への加入率を高めるための支援や広報

中川区と聞いて思い浮かぶイメージ

- ◇川がある、土地(海拔)が低いなど、津波・洪水による災害が心配
- ◇治安があまり良くない
- ◇交通事故が多い

中川区の理想的な未来

- ◇災害対策が充実していて、災害があっても、安心して暮らせるまち
- ◇犯罪、交通事故が少ない安全なまち
- ◇ゴミのないきれいなまち
- ◇住民が助け合い安心して暮らせるまち

※「中川区と聞いて思い浮かぶイメージ」及び「中川区の理想的な未来」は、区民アンケートや区民会議意見収集の場「なかが話」で区民の皆さまからいただいたご意見をまとめたものです。



中川区の健康・福祉

現 状

- ◇出生数が16区中2番目に多い(令和元年)
- ◇子育てに関する相談件数の増加
- ◇15歳未満の児童数が16区中2番目に多い(令和元年10月1日現在)
- ◇児童相談所における児童虐待相談対応件数の増加
- ◇高齢者数が16区中2番目に多い。後期高齢者数は16区中1番多い(令和元年10月1日現在)
- ◇病院数が16区中1番多い(平成31年4月1日現在)
- ◇要支援、要介護者数が16区中1番多い(平成31年3月31日現在)
- ◇認知症者数が16区中1番多い(平成31年3月31日現在)
- ◇障害者手帳所持者数が16区中1番多い(平成31年3月31日現在)
- ◇運動機能が低下している高齢者の割合が高い(平成28年度)

課 題

- ◇安心して子どもを生み、育てられる環境づくり
 - ・子育て世代が気軽に相談できる窓口の充実
 - ・子育て支援に関する情報発信
- ◇地域全体で子育てを支援する仕組みづくり
 - ・子育て支援者のネットワークの強化
- ◇児童虐待防止の推進
- ◇子どもが心身ともに健やかに成長・発達していくための環境づくり
- ◇高齢者が、住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを続けていける環境づくり
- ◇障害のある人もない人も安心してともに暮らせる地域社会の実現
- ◇地域づくりによる介護予防事業の展開

中川区と聞いて思い浮かぶイメージ

- ◇住みやすい
- ◇子どもが多い
- ◇高齢者が多い



中川区の理想的な未来

- ◇子育てがしやすく、子どもがのびのびと遊べるやさしいまち
- ◇子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち
- ◇障害者、障害児にやさしいまち
- ◇人々が自然に集まる憩いの場があるまち
- ◇子ども、高齢者など、さまざまな年代の人が交流でき、ささえあうまち



まちの魅力

現 状

- ◇さまざまな魅力の存在
 - ・歴史
～前田利家ゆかりの史跡等が数多くある～
 - ・文化財
～荒子観音寺の多宝塔等、数多くの文化財がある～
 - ・豊かな水辺環境
～中川運河をはじめ7つの川が流れる～
 - ・ものづくり
～東部の中川運河沿いを中心に工業が発展～
～製造業の事業所数が16区中1番多い～
(平成30年6月1日現在)
 - ・伝統的なまつり ～山車・神楽～
- ◇農業が盛ん
 - ・庄内川以西を中心として多くの農地がある
 - ・区発祥の「野崎白菜」や「名古屋ちりめんハボタン」など魅力ある伝統的な農産物を有している
 - ・青果物生産量が16区中2番目に多い
(平成30年度)

課 題

- ◇魅力発信のための企画の充実
- ◇効果的な魅力の発信
 - ・SNS等の活用
- ◇さまざまな機関等との連携
- ◇農業の振興
 - ・伝統的な農産物の魅力発信
 - ・新たな農業の担い手の育成
 - ・農業の魅力のさらなる発信



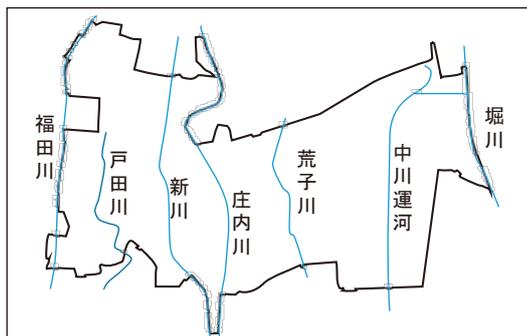
中川区と聞いて思い浮かぶイメージ

- ◇東西に広い、大きい
- ◇川が多い
- ◇農業、工業が盛ん
- ◇前田利家、野崎白菜

中川区の理想的な未来

- ◇若い人たちが住みたくなるようなまち
- ◇観光客が来たくなるようなまち
- ◇中川運河をシンボルにする
- ◇SNSを活用し、若者や外国人を呼び込む
- ◇幅広い世代の方が交流する場づくり

中川区内を流れる主な河川



第4章 中川区の将来像

1 めざすまちの姿

第3章で現状、課題及び区民の皆さまのご意見を整理し、中川区がめざす将来像を以下の3つにまとめました。

その1

地震・風水害など災害に強く、犯罪・交通事故が起こらない、
そして川や公園がいつもきれいな

安心・安全きれいなまち

その2

安心して子育てでき、子どもがのびのび遊び、
高齢者を始め、誰もがいきいきと暮らせる

みんなにやさしいまち

その3

歴史や実り豊かな農作物など区の魅力を発掘・発信して、
賑わいや活気ある誰もが訪れたいくなる

魅力あふれるまち

将来ビジョンのイメージ



2 まちづくりの合言葉

めざすまちの姿の実現のためには区民の皆さまとの協働が欠かせません。また、区民の皆さまの話し合いの中で、中川区の理想的な未来の実現のために一番大切だと思うものは、地域の交流、連携、つながりであるというご意見を多くいただきました。

そこで、中川区のめざすまちの姿に向けた、まちづくりの合言葉を「つながりづくり♡まちづくり」(♡はあたたかいところをあらわしています)として、区民の皆さまとともに、人と人とのつながりを大切に、中川区のまちづくりに取り組んでいきます。



3 めざすまちに向けた取り組み

「安心・安全きれいなまち」「みんなにやさしいまち」「魅力あふれるまち」をめざし、区民の皆さまとともに次のように取り組んでいきます。

安心・安全 きれいなまち

- ▶ 施策1-1 地域防災力の向上
- ▶ 施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進
- ▶ 施策1-3 快適に暮らせる環境づくり

みんなに やさしいまち

- ▶ 施策2-1 子育て環境の充実
- ▶ 施策2-2 子ども・青少年の健全育成
- ▶ 施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

魅力 あふれるまち

- ▶ 施策3-1 区民のふれあいと交流の推進
- ▶ 施策3-2 まちの魅力の発掘・発信

その1 安心・安全きれいなまち



施策1-1 地域防災力の向上

来るべき大規模災害に備え、地域の防災力を高める必要があります。そのため、地域・行政協働の下、地区防災カルテ*を活用した話し合いを通じて、地域における災害リスク等の特性に応じたきめ細かな「自助」「共助」の防災活動(地域避難行動計画策定、指定避難所開設・運営訓練、地域での助け合い等)を支援するなどの取り組みを実施します。

※ 地区防災カルテ

大規模災害に備え、よりきめ細やかな地域の防災活動を推進・支援していくため、地形や災害リスク等の地域特性や地域の防災活動状況など各種情報を学区ごとに整理したもの

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
防災対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	47.7% (令和元年度)	55%
地区防災カルテを活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合	41.7% (令和元年度)	100%

施策1-2 防犯対策・交通安全対策の推進

犯罪や交通事故から身を守れるように、区民の皆さまや警察をはじめとする関係公署等と連携・協力し、原因や実態に即した啓発キャンペーンの実施や交通安全教室の開催等を通じて、防犯意識の向上や交通安全意識の向上を図り、犯罪及び交通事故のない地域づくりを進めます。

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
防犯対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	55.8% (令和元年度)	60%
交通安全対策への取り組みが進んでいると思う区民の割合	57.6% (令和元年度)	65%
交通安全教室の開催回数	79回 (令和元年度)	90回

施策1-3 快適に暮らせる環境づくり

区民の皆さまや関係公署等と連携・協力し、グリーンキャンペーン等のまちを美しくする運動の推進や空家等の適切な管理の推進、ペットの飼主マナーの向上についての啓発等を通じて、誰もが快適に暮らせる環境づくりを進めます。

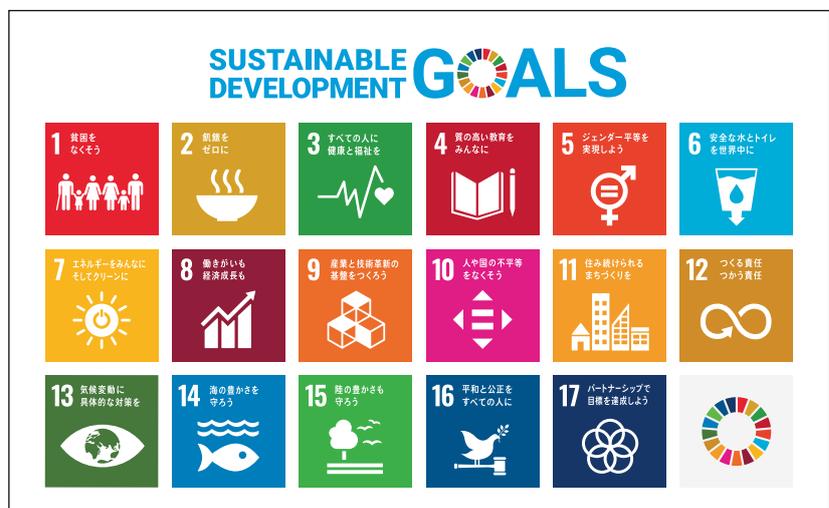
成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
快適な環境づくりへの取り組みが進んでいると思う区民の割合	46.7% (令和元年度)	55%
グリーンキャンペーンの参加人数	9,727人 (令和元年度)	10,000人

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて

国連サミットで採択されたSDGsとは、「誰一人取り残さない」ことを基本理念とし、17のゴールを掲げる国際社会共通の目標です。

中川区将来ビジョンの施策を推進していくことにより、SDGsの達成に寄与すると考えられるゴールについて、そのアイコンを「めざすまちの姿」その1からその3に掲げています。



その2 みんなにやさしいまち



施策2-1 子育て環境の充実

誰もが安心して子どもを生み育てることができるよう、保健師等による妊娠・出産・子育てに関する相談対応や、保育所の利用相談等の就学前児童のいる子育て家庭に対する各種相談の対応、子育て支援に関する情報の発信、子育て家庭の交流の促進等、妊娠から子育てに至る切れ目のない支援を行います。

また、地域と連携・協力することにより、子育て家庭が孤立することがないように、地域全体で子育てを支援する機運を醸成します。

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
子育て支援の取り組みが進んでいると思う区民の割合	53.8% (令和元年度)	60%
なかがわっ子サポーター*活動件数	255件 (令和元年度)	300件

* なかがわっ子サポーター

中川区内で、子育てサロンや子育て交流イベント等の地域における子育て支援活動を行うボランティア

施策2-2 子ども・青少年の健全育成

子どもが心身ともに健やかに成長・発達することができる環境をつくるために、異年齢間での交流などのさまざまな体験を通じて社会性を身につけられるよう、地域における子ども会活動等への支援を行います。また、地域や学校と連携し、青少年が自らの活動を発表する場の開催支援や保健師等による思春期に合わせた健康教育の実施など、青少年の健全育成のための取り組みを推進します。

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
青少年育成への取り組みが進んでいると思う区民の割合	34.4% (令和元年度)	40%
子ども会への加入率	24.6% (平成31年4月1日現在)	25% (令和5年4月1日時点)

施策2-3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう「地域包括ケアシステム※」の深化・推進等に努めます。あわせて、外出や仲間づくりの機会を充実させ、地域での生きがいづくりを支援します。

また、関係団体と連携し、障害者の地域生活支援の充実や障害の理解の促進に努めます。

さらに、健康教室・健康相談の実施やがん検診の普及啓発を進めるなど、区民の皆さま誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

※ 地域包括ケアシステム

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・介護予防・在宅医療と介護の連携・認知症施策・生活支援・住まいが包括的に確保される仕組み

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
高齢者・障害者支援への取り組みが進んでいると思う区民の割合	50.3% (令和元年度)	55%
高齢者サロン・共生型サロン※ ¹ の実施数	120箇所 (令和元年度)	122箇所
認知症サポーター養成講座※ ² 受講者数(累計)	10,540人 (令和元年度)	16,200人

※¹ 高齢者サロン・共生型サロン

高齢者の方が身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流することができる場所。高齢者サロンは高齢者同士が、共生型サロンは子どもから高齢者までと一緒に交流でき、地域の「お茶の間」や「たまり場」として、元気な高齢者を始め地域住民等が自主的に運営しています。

※² 認知症サポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための講座。いきいき支援センターなどの地域の身近な場所で随時開催しています。



その3 魅力あふれるまち



施策3-1 区民のふれあいと交流の推進

中川区においては、伝統的なまつりが数多く行われており、これらは地域のつながりに欠かせないものになっています。

加えて中川区では、地域団体や企業などと連携・協力して、区民まつりや各種イベントを開催し、ふれあいや交流の推進と、中川区に対する誇りや愛着の醸成・高揚を図ります。

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
区民のふれあいや交流を推進する取り組みが進んでいると思う区民の割合	62.7% (令和元年度)	70%
区民まつり来場者アンケートにおける満足度	95.7% (令和元年度)	95%以上

施策3-2 まちの魅力の発掘・発信

中川区には、区名の由来となった中川運河をはじめ、前田利家ゆかりの史跡が数多く残り、ものづくりや農業が盛んであるなどさまざまな魅力があります。

豊かな水辺環境、区内の歴史・文化、区内発祥の特産農産物など中川区の魅力をさまざまな機会を通じて、積極的に情報発信します。

成果指標

指 標	直近の現状値	令和5年度 目標値
まちの魅力を発掘・発信する取り組みが進んでいると思う区民の割合	42.8% (令和元年度)	50%
SNS※による発信件数	65件 (令和元年度)	80件

※ SNS

Social Networking Service(Site)の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス(サイト)。会社や組織の広報としての利用も増えてきています。

1 つながりづくり♡まちづくり ～まちづくりの合言葉～

まちづくりにおいては、行政と区民の皆さまとの協働、地域の皆さまの間の連携や交流の推進を欠かすことはできません。

「つながりづくり♡まちづくり」をまちづくりの合言葉とし、地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを推進するとともに、区民の皆さまのご理解やご参画をいただきながら、めざすまちの姿の実現に取り組んでまいります。

2 将来ビジョンの進行管理

めざすまちの姿に向けた具体的な取り組みについては、毎年度策定する「区政運営方針」で皆さまにお知らせします。

また、取り組み一つひとつについて、達成度などの評価を行い、その結果や区民の皆さまのご意見などを参考に、取り組み内容の改善や拡充、新たな取り組みの実施や廃止を行うなど、めざすまちの姿の実現に向けて進行管理を行ってまいります。

3 住民に身近な総合行政機関

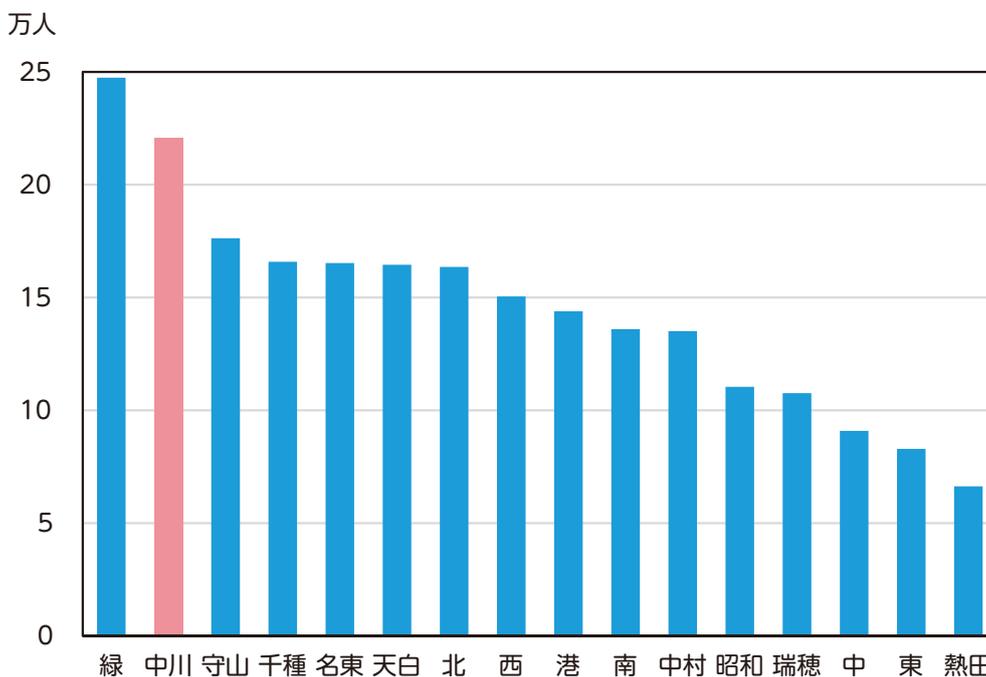
区のあり方基本方針(平成29年3月策定)においては、めざすべき区役所像を、地域の課題解決や区の特성에応じたまちづくりに住民の皆さまとともに取り組む「住民に身近な総合行政機関」としています。

そのため、中川区役所では、窓口サービスの向上を図るなど利用しやすく親しまれる区役所をめざすとともに、区民会議の開催や区民アンケートの実施により、皆さまの声をよく聴き、区政へ反映してまいります。



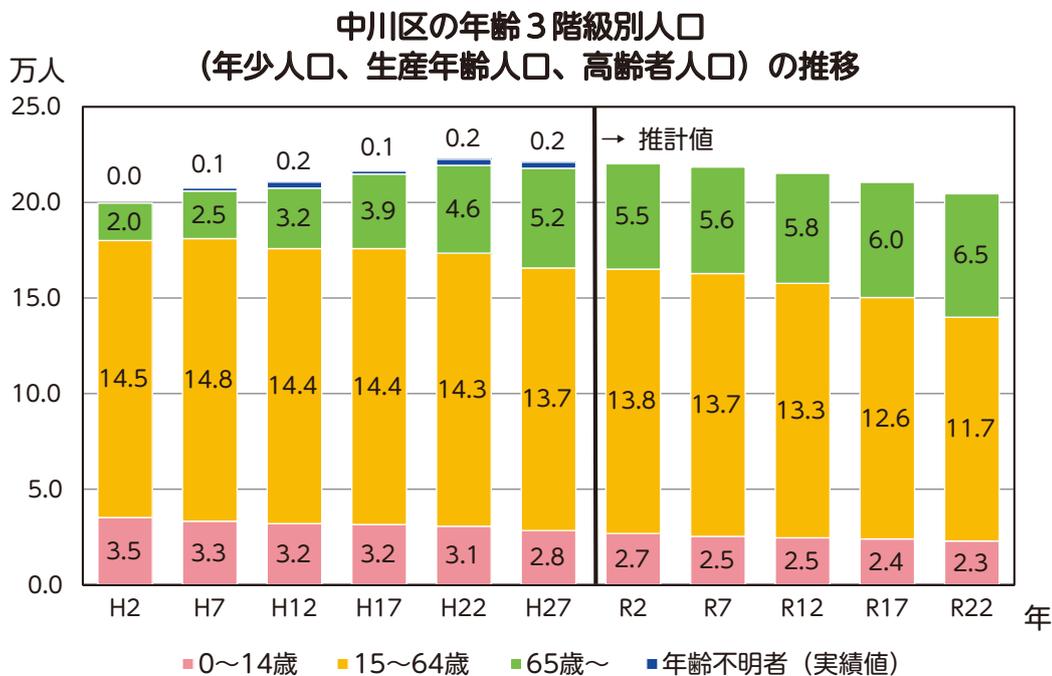
参考 中川区に関する各種資料等

○名古屋市の各区の人口(令和元年10月1日現在)



出典：統計なごやweb版 国勢調査結果より作成

○中川区の人口の推移



出典：実績値 統計なごやweb版 国勢調査結果より作成
推計値 統計なごやweb版 名古屋市将来人口推計

令和元年10月1日現在の中川区の人口は220,782人で、緑区について16区中2番目に多くなっています。また、少子化・高齢化の影響により、今後人口が減少していくことが予想されています。

○その他統計データ

項目	中川区	名古屋市	16区内 順位	時点または 期間
面積(k㎡)	32.02	326.45	4位	R1.10.1
世帯数(世帯)	100,818	1,117,913	2位	R1.10.1
人口(人)	220,782	2,327,557	2位	R1.10.1
65歳以上人口(人)	54,101	571,692	2位	R1.10.1
比率(%)	24.8	25.0	7位	R1.10.1
15歳未満人口(人)	26,637	279,745	2位	R1.10.1
比率(%)	12.2	12.2	6位	R1.10.1
主要罪種認知件数	674	7,934	3位	R1年
自動車関連窃盗	145	1,591	1位	R1年
自転車盗	398	4,636	3位	R1年
住宅対象侵入盗	39	532	4位	R1年
その他	92	1,175	—	R1年
交通事故発生件数	912	9,525	2位	R1年
要介護者数	6,846	73,207	1位	H31.3.31
要支援者数	3,520	38,419	1位	H31.3.31
障害者手帳等所持者数	12,687	122,130	1位	H31.3.31
身体障害者手帳所持者数	8,164	78,677	1位	H31.3.31
愛護手帳所持者数	1,956	17,758	1位	H31.3.31
精神障害者保健福祉手帳所持者数	2,567	25,695	1位	H31.3.31
純農家数(戸)	599	2,641	2位	H27.2.1
青果物生産量(t)	611.45	2,736.21	2位	H30年度
製造業の事業所数	532	3,623	1位	H30.6.1
製造品出荷額等(百万円)	266,031	3,490,381	5位	H30年

※主要罪種は、強盗、恐喝、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、部品ねらい、車上ねらい、ひったくり、自動販売機ねらい、侵入盗の10種をいう。

※犯罪及び交通事故発生件数は愛知県警察本部資料より

※製造業の事業所数、製造品出荷額等は工業統計調査(経済産業省)より

※上記以外は名古屋市作成

※65歳以上及び15歳未満人口の比率は、年齢不詳を含まない人口総数を分母として算出

○区の魅力



中川運河

区名の由来となっており、名古屋港と都心を結ぶ水運による物流の軸として、名古屋の経済・産業の発展を支え、東洋一の大運河と称されました。

松重閘門

中川運河と堀川を結ぶ通船路として建設され、昭和7年に開通しました。水位の異なる二つの河川の水位調整の役割を果たしていましたが、昭和51年にその役割を終え、昭和61年には市の文化財に、平成5年には都市景観重要建築物に指定されました。



前田利家生誕の地

加賀百万石の礎を築いた前田利家生誕の地と言われており、利家ゆかりの史跡が数多くあります。

また、あおなみ線荒子駅前に銅像が建立されています。



区内発祥の特産農産物

「野崎白菜」

葉肉が厚くて、やわらかく美味しいことが特徴です。

「名古屋ちりめんハボタン」

アブラナ科の植物で、集まった葉の形がボタンの花を思わせるヨーロッパ原産の多年草で、区の花となっています。



このほかにも、中川区にはたくさんの魅力があります。

コラム1

中川区を襲った主な災害

出典：中川区役所「中川区 歴史に学ぶ防災マップ」

東南海地震(昭和19年12月7日)

下之一色地区を中心に液状化現象が発生し、家屋倒壊や死傷者の発生など大きな被害に見舞われました。名古屋市の震度は5~6と推定されます。

三河地震(昭和20年1月13日)

東南海地震に誘発された地震と推定され、荒子観音寺の本堂が倒壊しました。名古屋市の震度は4~5と推定されます。

伊勢湾台風(昭和34年9月26日)

新川西側の堤防が決壊したこともあり、約11万人が被災し、20名が亡くなりました。

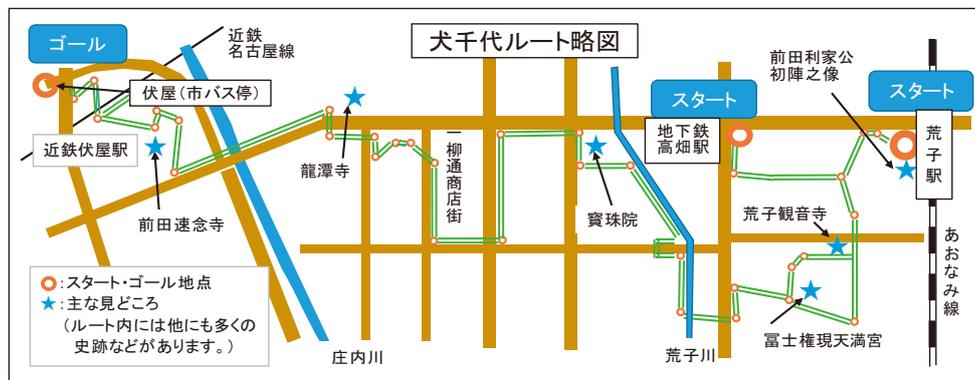
東海豪雨(平成12年9月11日)

秋雨前線による猛烈な集中豪雨に襲われ、床上浸水275世帯、床下浸水2,766世帯の被害が発生しました。

前田利家の魅力発信

《犬千代ルート～前田利家百万石への道～》

平成14年のNHK大河ドラマ「利家とまつ」の放送をきっかけに、まちおこしの一環として、中川区内の利家ゆかりの地などを巡る散策コース「犬千代ルート」が策定されました。ルート上のポイントには、「梅と矢印」の案内マークが用意されています。また、策定に尽力いただいた地域団体の皆さまには、現在も犬千代ルートをはじめ区内見どころのガイドボランティアを担っていただいています。



《なかがわ・利家ルネッサンス(前田利家の魅力再発信事業)》

令和元年度には、犬千代ルート策定時の活気や賑わいを取り戻すため、「なかがわ・利家ルネッサンス」と銘打って、区民や事業者の皆さまと協力し、前田利家の魅力再発信事業を推し進めました。



《今後の展望》

「なかがわ・利家ルネッサンス」の実施により、前田利家生誕の地をPRする基礎が整いました。中川区を訪れば、利家ゆかりの地やゆかりの商品がたくさんある、そのようなイメージの普及浸透を今後も図っていきます。

名古屋市中川区役所 企画経理室

〒454-8501 名古屋市中川区高畑一丁目223番地

電話: **052-363-4383** FAX: **052-362-6562**

E-mail: a3634304@nakagawa.city.nagoya.lg.jp